

子育て絵本トーク



誰もが経験したことのない新型コロナウイルスの流行によって、世界中の人々が世代を超えて、どうすごしたら良いか戸惑う毎日を過ごしています。

そんな時だからこそ、絵本の力をかりて、各ご家庭で気分転換することが大切です。

本来であれば、絵本に年齢の区別はありませんが、紙面の都合上、子ども向けと大人向けに分けてご紹介させていただきます。

まず、子どもたちにおすすめします。

『ありのあちち』

出版社／福音館書店（0,1,2えほん）
つちはしとしこ作 本体800円+税

子どもは興味のあるものはなんでも、触ったり、口に入れたりしますよね。主人公のありがおうちの中を冒険しながら、甘いもの、からいもの、熱いものに出会って学んでいくお話です。

『おこだてませんように』

出版社／小学館 くすのきしげのり作
石井聖岳絵 本体 1,500円+税

ぼくは、いつもおこられる。家でも、学校でも。主人公の男の子は、たなばたさまの短冊に「おこだてませんように」と願い事を書きました。すると…思いがけないことが起こります……。子どもたち一人ひとりに、その時々で揺れ動く心があります。大人の都合に合わず、結果的に怒られることもあるし、楽しいと思ってしたことが悪い事だったんだ、と怒られたり。子どもにもいろんな思いがあることに、絵本を通して「ドキッ」とさせられます。

『ペンギンたいそう』

出版社／福音館書店（0,1,2えほん）
齋藤禎文 文・絵 本体800円+税

「ペンギンたいそうはじめるよ！」「息をすってー」ユニークな動きに、思わず家族で身体を動かしたくなります。

最後に、忘れかけていた大切なことを思い出させてくれる絵本を大人向けの絵本とし、紹介させていただきます。

『だいじょうぶ だいじょうぶ』

出版社／講談社
いとうひろし作・絵

おじいちゃんと散歩に出かけたぼくは、いろいろなものと出会い、「だいじょうぶ」を経験していきます。今こそ、大人も子どもも気付かされること多い絵本です。

子育て絵本トークで皆様と再会し、子育てについて楽しく話し合える機会が一日でも早く訪れますように、願っております。皆様のかげがえのない命が守られますように、お祈り致します。

天使幼稚園 園長 大槻 いずみ

